

国土交通省
管理職ユニオン

NO. 228
2014.6.30

発行 国土交通省管理職ユニオン
所在地 東京都千代田区霞ヶ関 2-1-2 中央合同庁舎 2号館
TEL 03-3509-1138
Eメール k-union@alpha.ocn.ne.jp
ホームページ http://www7.ocn.ne.jp/~k-union

管理職員の健康と生活破壊を防ぐ超勤規制とパワハラ撲滅を！

管理職ユニオン各支部では、5月17日～18日の全国大会終了後、定期大会を開催しています。今号で大会の報告をします。

震災前の2倍の予算 なんと1兆3675億円 東北支部

東北支部は6月7日(土)、仙台市「生涯学習支援センター」において、第16回支部大会を開催しました。大会には、本部から中山事務局次長、



国交労組東北建設支部から田中副委員長を来賓に招き、役員、代議員など14名の出席で進められました。大会の議論は、危機管理体制やそれに伴う手当の問題、震災復興と職場での健康破壊の問題などに集中し、今後、地方切り捨ての給与制度を許さない運動とともに、心と身体の健康を求めて、職場の「ダークル」を当てる運動を強化すること、組織も大きく増やすことを確認し、新役員を選出して成功裏に終了しました。

東北支部役員

役名	氏名	勤務先
執行委員長	堀井 寿	秋田河川国道
副執行委員長	武田 恒弘	郡山国道事務所
〃	大槻 金二	専従(週2日以上)
事務局長	加藤 桂一	酒田河川国道
事務局次長	藤原 孝徳	新庄河川

厳しい職場実態 に議論が集中 北陸支部

北陸支部は6月7日定期大会を、代議員22名の参加で開催しました。議論は、再任用問題(能力・経験を生かす活用がされていない。防災体制は再任用者を体制に入れ経験を得



生かしてもらおうべきだ。そうでないとやりきれない。必要なら勤怠予算を確保すべき。フルタイム採用実現など。業務執行体制の問題では、心の病が多い。職員が多い。それなのに定員を余らせているのは問題だ。出張所は現場に出れば留守になることが多い。これで地域のためにならなっているのか。車も足りない。職種間交流が行われているが、慣れるまで個人に負担がかかれば、業務の円滑化からすればこういう人事でよいのか。等厳しい職場実態が出されました。

図面3枚で5億円の工事。地元周知せず総入 かん 中部支部

国土交通省管理職ユニオン北陸支部 役員名簿

役職	氏名	所属
執行委員長	高橋 昭一	阿賀野川河川事務所
副執行委員長	河瀬 幸一	専 従
〃	土肥 和広	富山河川国道事務所
〃	島尻 清昭	高田河川国道事務所
〃	山本 敏一	飯豊山系砂防事務所
〃	金子 雄司	新潟国道事務所
事務局長	羽深 圭一	羽越河川国道事務所
事務局次長	喜多 昇	信濃川下流事務所
〃	原 俊彦	信濃川下流事務所

2014年度 ユニオン中部支部役員

役職名	氏名	分会名
委員長	竹内 寛幸	天谷
副委員長	鈴木 喜平	静河
	江間 裕志	天竜上
	作田 豊彦	北勢
	川地 幸弘	木曾上
	松井 正己	浜松
事務局長	海野 鐘弘	庄内川
事務局次長	大矢 健司	木曾下
	小幡 豊	多治見

● 補正の概数発注で、図面三枚で5億円の工事を発注した。出張所は、設計調整・地元調整で大変に苦労した。国策とは言え、これでは地元で工事の品質を保証出来ない。必ず地元の理解を得る事が大切。

● 昨年度、事務所に強力な額の補正がつけられ、出張所に多くの工事が組まれた。もちろん地元への周知も無かったため、地元からは総スカンを食らった。補正を付けるには地元の理解が必要。

● 大会では、予算消化第一主義の公共工事の「乱発」による職場の実態、コンプライアンス無視まがいの業務執行について以下のような発言が出されました。



● 長期休暇から復帰するときに、元の所に戻ると状況は同じなので変える必要がある。また復帰前にお試し期間があるが、通勤手当は出ないので、遠方では交通費負担も大きい。ようやく六級昇格したが、ほとんど所得は増えな

● 河川の課だが、長距離通勤や病気休暇で機能できていない。官ポストが応援している。

● 大会では以下のような意見が出されました。

近畿支部 第一七回定期大会(土)五日(土)一日 阪第一合 同庁舎別 館会議室で開催されました。

大会には、代議員・来賓役員など五四名が参加し、一年間の運動についての総括と今後一年間の運動方針・組織方針について議論し、諸方針を満場一致で採択しました。



空洞化する職場実態の報告 近畿支部

● 空きポストが多すぎる、職員での増員が重要だ。課長が併任で複数の課を担当している事例もある。

近畿支部役員

役職名	氏名	分会名
委員長	片山 則哲	京都
副委員長	荒木 孝朋	大田
	亀井 稔	淀川
	小原 良一	九頭竜
	田島 利雄	滋賀
	上原 秀樹	滋賀
事務局長	西村 政司	六甲
事務局次長	植村洋一郎	淀川

現場を無視した 本省の対応 中国支部



中国支部は、5月31日(土)14時より広島市中特会館で第17回定期大会を開催しました。大会には組合員や来賓19名が参加しました。以下主な意見を紹介します。

無駄な公共事業を繰り返してはならない。発注の工事から馬鹿にされない。地元からも馬鹿にされない。業界からも批判の声を

が出されている。「本省から厳しい制約があった。新道方式で実施したため、堆雪帯がない。深夜に通行止めを実施し、ダンブ運搬となってきている。業者からは、「できるものなら次回回は辞退したい」との声も寄せられている。現場を無視した本省の対応を是正させる必要がある。」

「再任用の出張勤務が実現したのは大きな成果。一方で、再任用の指導員が配置された。業務係長が空きとなってきている。今年度は係長等のポストに空きが多いため、是正が必要だ。」

中国支部新役員

役職名	名前	所属
執行委員長	山本 康夫	倉吉河国
副執行委員長	大塚 剛	岡山河川
事務局長	牛尾 正孝	中国技術

無理なことは無理 と言おう! 四国支部

四国支部は第1定期大会を6月7日(土)、高松市「サン」



「高知市案」を二度と繰り返さないためムリなことはムリと意思表示することは、補正予算消化に伴う多忙な職場実態、災害時・深夜勤務について、超過勤務手当・管理職特別勤務手当未支給問題など管理職が抱える問題について多数の意見が出されました。「今なら間に合います。」を「活用した。職責を全うする。分けて開く。確認し、指す。確認し、指す。」

四国支部新役員

役職名	名前	所属
執行委員長	黒川 威	香川河国
副執行委員長	神前 巖	松山河国
事務局長	阿部 勝義	高知河国
事務局次長	岩崎 洋二	香川河国

複数事務所でパワー ハラ横行! 九州支部

5月31日(土)1日(土)国土交通省管理職九州支部第17定期大会を開催しました。

九州支部役員

役職名	氏名	勤務先
委員長	野口 和洋	熊本河国
副委員長	神野 隆司	川内川
"	橋口 繁雄	八代河国
"	沼田 秀昭	大隅河国
事務局長	堀之内幸昌	筑後川
事務局次長	山下 正昭	熊本河国



今回、参加組合員からの現状報告で特徴的だったのは職場内でパワーハラが横行しているという点です。ある事務所で課長は事務所から課長に対するものであったり、ある事務所で副所長から課長に対して、行っていったというものもありました。各事務所とも管理職、係長、担当者問わずメンタルヘルス不調者が多く、今のままの仕事のやり方を続けていくと皆つぶれてしまうという発言もあって、少ない職員数で益々増え、やり方を変えていくべき組織存続も危ぶまれる状況です。上から言われてこなすだけではなく、部下が大丈夫かを見て仕事の進め方を変え、さらに人も増やしていくことが大切です。

フルタイム勤務、 新規採用を! 地理支部



地理支部は、2014年6月20日、つくば市国際会議場において第15回定期大会を開催し、本部、国交労働組地理支部から来賓として出席された22名が参加し、活発な質疑討論ののち、満場一致で運動方針が採択されました。

地理支部役員

役職名	氏名	勤務先
委員長	渡辺 信之	基本国情報部
副委員長	飯村 威	地理空間情報部
"	中島 最久	関東地方測量部
"	飯塚 豊久	九州地方測量部
事務局長	上村 和彦	測地部
事務局次長	岩田 昭雄	測地観測センター
	上村 淳一	企画部

『第9回管理職等アンケート』にご協力を お願いします

国土交通省に働く多くの管理職員は、仕事と処遇や将来の生活についての不満や不安と要求を持ちながらも、管理職員だからということで物申すことも出来ずにひたすら耐えざるを得ないという実態が長く続いてきました。

私たちは、こうした管理職員の想いや悩みをアンケートで把握して、これを基に要求としてまとめ、国土交通省、人事院、総務省に要求書を提出し、アンケートで出された切実な「想い」や「声」を示しながら、管理職員の処遇改善を迫り、定年退職者の退職前六級昇格、強制的・組織的「若年勤奨」中止、管理職再任用者の三級昇格、管理職特別勤務手当の支給など要求を前進させてきています。

で運動方針が採択されました。討論では、国土地理院の処遇改善が進まない中で、女性組合員の6級官ポスト昇任を実現したことや4級格付けが実現した指導官から「ユニオンのおかげだと感謝されている」と報告がありました。定員が充分ありフルタイム勤務・新規採用をもっと行わせるべき。広域配転の機関であるが、財務省が地方測量部で不足しているが、管理職に強い問題がある。問題が多岐にわたる。意見が多岐にわたる。意見が多岐にわたる。